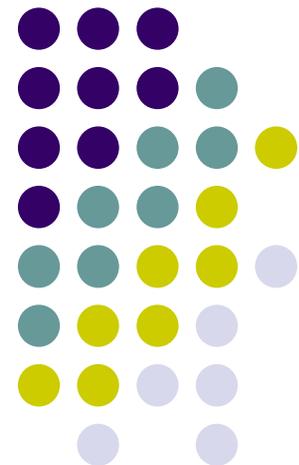


JAバンクシステムにおける取組み

平成22年4月22日
農林中央金庫



JAバンクシステムとは



JAバンクシステム

組合員・利用者

安心

便利

JAバンク会員の
経営健全性確保

金融サービスの
提供の充実

JAバンク基本方針

JA
(719)

信連
(36)

農林
中金

破綻未然防止システム

一体的事業推進

農林中金への
指導権限付与など

JA
中央会

協力
連携

JA全国
監査機構

協力
連携

JAバンク
支援協会

支援

()内の組織数は
平成22年4月1日現在

なお、平成20年度末の
JA組織数は759JA

再編強化法・・・(農林中央金庫及び特定農林水産業協同組合等による信用事業の再編及び強化に関する法律)

JAバンクシステムとは

- 再編強化法に基づき、JAバンク会員総意のもと「JAバンク基本方針」を策定。
- 当方針に基づき、JA・信連・農林中金が一体的に事業運営に取り組む仕組みであり、平成14年にスタート。

破綻未然防止システム

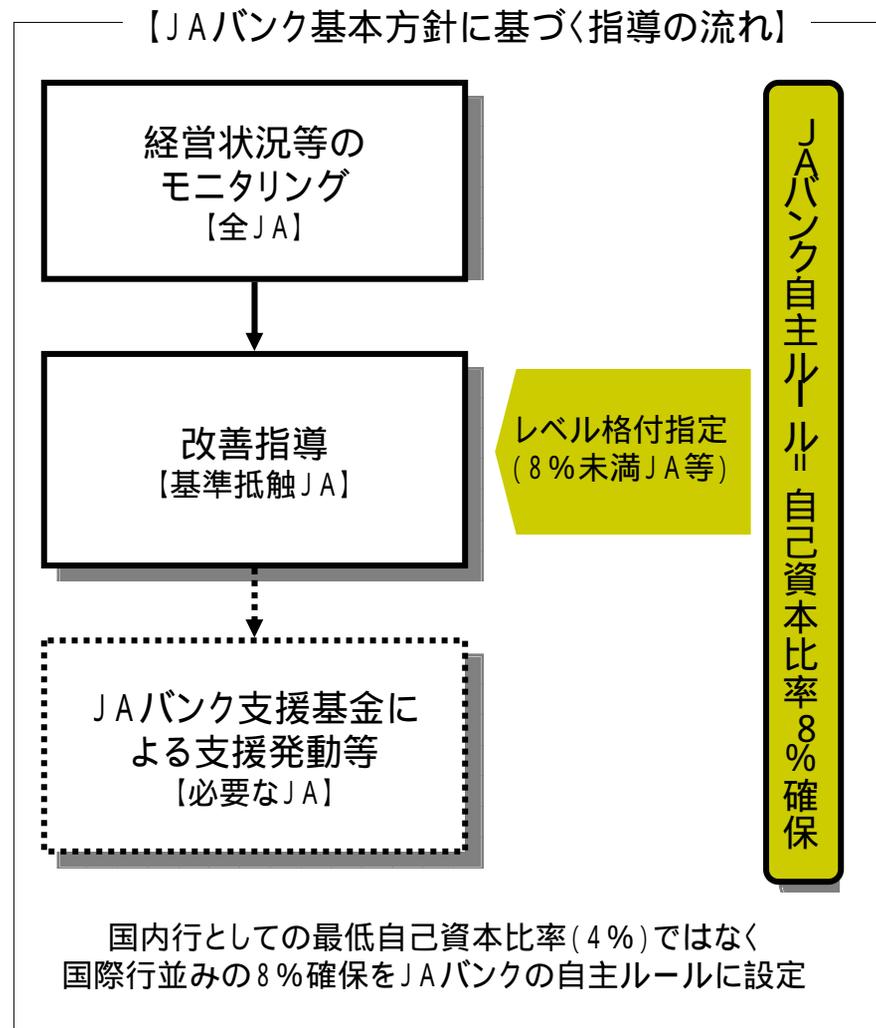
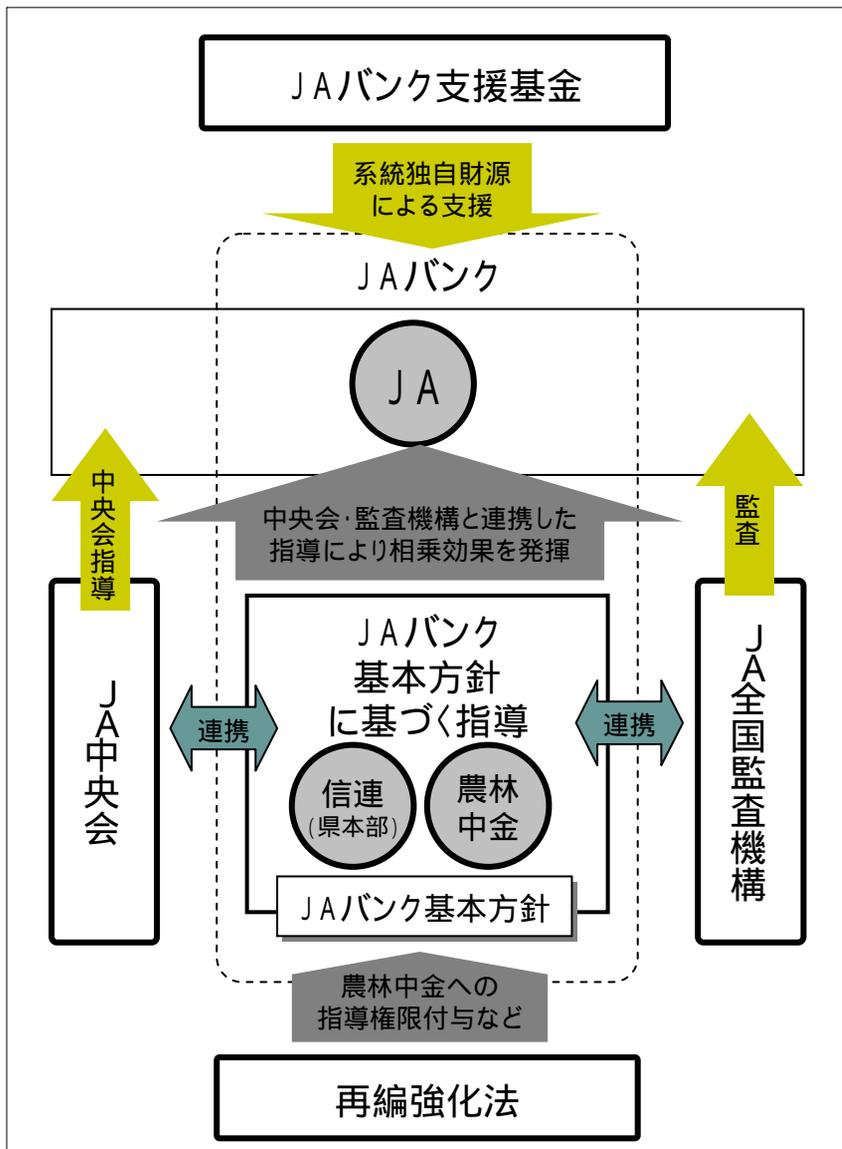
- 破綻未然防止への取り組みによりJA経営の健全性を確保し、組合員・利用者の信頼性を確保。

一体的事業推進

- JAバンク全体として総合的戦略を策定し、一体的な事業推進を実施。
- 統一的なシステム・事務により、全国どこでも統一された金融商品・サービスを提供。
- 全国津々浦々に金融ネットワークを展開。

20年度末	都銀等	地銀	信金	信組	郵貯	JA
組織数	11	109	279	162	1	759
店舗数	2,559	10,826	7,671	1,785	24,086	9,394

破綻未然防止の取組み



健全性確保の状況



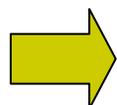
- 自己資本比率・不良債権比率の推移（14～20年度末）

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
自己資本比率 (単体)	-	17.3%	17.8%	18.1%	17.8%	17.4%	17.6%
不良債権比率 (金融再生法開示)	-	-	7.4%	6.2%	5.3%	4.4%	3.9%

- 他業態との比較（20年度末）

20年度末	都銀等 (主要11行)	地銀 第二地銀	信用金庫	信用組合	JA
自己資本比率 (単体)	12.4%	10.5%	11.8%	10.2%	17.6%
不良債権比率 (金融再生法開示)	1.7%	3.4%	5.8%	9.0%	3.9%

(出所) 政府・各業態HPより作成、JA数字は農林中金調べ



他業態と比較して遜色ない健全性を確保

相互牽制の仕組み



経営状況を
相互監視

経営状況等の
モニタリング

改善指導

支援発動等

重要事項を
県内・全国協議

JAバンク
県本部委員会

(委員)
JA、信連、農林中金、県連合会
(行政等もオブザーバーとして参画)

JAバンク
中央本部委員会

(委員)
県域・地区代表(JA・信連等)
全国連、外部委員(農業担い手等)

モラル
ハザード
防止

ガバナンス

各組織、地区・県域への
説明責任を背負って委員会に参画

経営改善
計画策定等

セーフティネット

JA
(719)

信連
(36)

農林
中金

系統独自の財源拠出により基金造成

経営合理化
経営者(出資者)・
指導責任の明確化

自ら拠出した
支援財源を
保全する責任

基金残高
1,689億円
(21/3末)

JAバンク支援基金

累計支援額
38件・668億円
(13-20年度)